

様式第 10 号の 2 (第 8 条関係)

少量危険物
指定可燃物

貯蔵取扱い構造設備明細書

工 事 施 工 者		住 所		
		氏 名	電 話	
屋外貯蔵関係	空地の幅		近接建物等	
	区画内面積		防火塀	
	さく等		地盤面	
屋内貯蔵関係	階数		面積	
	壁		柱	
	天井		床	
	ためます等		窓・出入口	
	換気・排出設備		照明・採光	
共通するタンクの構造等	形状		寸法	
	容量		材質	
	板厚		通気管	
	引火防止装置		液量表示装置	
	注入口		防食措置	
	検査	年 月 日 第 号		
地下タンク	埋設方法	タンク室		
		室省略		
	基礎		検知管	
移動タンク	常置場所			
	固定方法		間仕切	
	防波板		マンホール	
	防護柵		閉鎖装置	
	先端弁		接地導線	
	注入ノズル等			

ボイラー等の設置場所	階	数		面	積	
	壁			柱		
	天井			床		
	サービスタンク			窓・出入口		
	機器の種別			消費量		
その他の	配管	材質・口径		防食措置		
		開閉弁		点検口		
		耐震措置		重圧措置		
	防油堤	材質	容量	排水バルブ		
	電気設備					
	ポンプ設備					
	安全装置					
	静電気除去装置					
	架台	材質	固定方法			
	加熱・冷却設備					
	乾燥設備					
	加圧設備					
	標識・掲示板					
消火設備						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 次の図面を添付すること。

配置図、平面図（配管ルートを記載）、姿図、断面図及びその必要な図面（検査済証の写し、機器の仕様書等）